

学友会報

発行

兵庫県立大学 学友会
神戸市西区学園西町8丁目2-1
電話 078-793-5081

五百旗頭 真氏が講演 記念行事に150名が集う 学友会設立10周年記念講演会・祝賀会

2018年11月18日にANAクラウンプラザホテル神戸にて、「兵庫県立大学学友会設立10周年記念講演会・祝賀会」を開催しました。

講演会場には、学友会会員、学部同窓会会員のほか、教職員や学生、県関係者など150名を超える方々にお集まりいただきました。

記念行事は、池野忠司学友会会長の開会挨拶により、幕を開けました。

講演会は兵庫県立大学理事長の五百旗頭真氏（2018年4月に就任）を講師にお迎えして、「激動の世界と日本」と題し、これまでの日本の歴史及び激動の世界の現状を踏まえ、今後日本の進むべき方向性について、ご講演いただきました。

～講演から～

平成の時代は、苦難の30年がありました。三重苦だったと思います。

一つ目はバブルがはじけて日本経済が失われた20年になったことです。

二つ目は、大災害の時代です。今年は大阪北部、北海道とあちこちで地震が起こりました。大阪を南北に貫く上町断層が動けば、大変な修羅場になります。

ましてや首都直下が起これば、社会災害も併発します。ですから一極集中を逆流させなければいけません。

生存のために、意図的に地方に分散するのです。安全対処としてやるのが必要な英知だと思っています。

三つ目は、国際的な暴落です。不況になると本当に悲惨です。その痛みがトランプ政権を生み出しているのです。

日本は国際社会の最前列にいて、諸問題の解決に向けて重要な役割を果たさないといけません。

講演会終了後、祝賀会は、学友会顧問の滝川博司氏の挨拶に始まり、兵庫県副知事の荒木一聰氏の来賓祝辞、そして太田勲学長の挨拶および乾杯のご発声と続きました。

祝宴では、ジャズ研究部の学生によるジャズ演奏もあり、会話にそして食事にと、大いに華やぎました。

学部の垣根を越えて、同窓会



員同士の交流などのよい機会となりました。

約2時間にわたり、盛り上がった祝賀会も、本西敦子学友会副会長の閉会挨拶により、惜しまれつつ幕を下ろしました。



看護学部25周年記念式典 南裕子初代学長による講演会

2018年11月17日、明石看護キャンパスで「看護学部開学25周年記念式典」が開催されました。

兵庫県立大学看護学部は1993(H5)年に兵庫県立看護大学(国公立として全国初の看護系単科大学)が開設され、2004(H16)年の兵庫県立大学への統合を経て、2018年で25年を迎えました。これを記念して、開学25周年記念式典が、秋晴れの青空のもと、同キャンパス講堂で開催されました。

坂下玲子看護学部長の開会の挨拶に続き、太田勲学長、宮東豊一明石後援会会长からご挨拶がありました。その後、県立看護大学の初代学長だった南裕子名誉教授を講師に、「この時代に問われる看護の本質」と題し、記念講演が行われました。

また「過去・現在・未来へのメッ



セージ」をテーマに、各方面で活躍されている看護学部卒業生・修了生4名による講演があり、参加者との質疑応答が行われました。

参加した卒業生・修了生には、先生や学友との再会の機会となりました。

環境人間学部がロゴマークを制定

20周年記念シンポジウム及びフォーラム

2018年11月8日、姫路環境人間キャンパスで、環境人間学部創設20周年記念シンポジウム及び環境人間学部フォーラムが開催されました。

シンポジウムは、卒業生によるビデオレターの上映、太田勲学長の開会の挨拶で幕を開けました。

学部創設20周年を機に、新た



に決定された「環境人間学部ロゴマーク」の最優秀賞受賞者に対する表彰が行われました。

パネルディスカッションに移り、司会を務めた学部学生2名とパネラーとなった5名の卒業生との間で、これまでの環境人間学部の歩みとこれからについて、ディスカッションが行われました。

山村充環境人間学部長の閉会の挨拶によりシンポジウムが幕を下ろしました。

その後行われた環境人間学部フォーラムは、今回で15回目となりました。学生たちが研究活動や社会活動で身についた様々な知見や経験について、ポスター展示と発表を行いました。

ロゴマーク



- 人間形成系
- 國際文化系
- 食環境栄養課程
- 社会デザイン系
- 環境デザイン系

左側の「人間」は未来へ向かって飛び立とうとする学生の姿、右側の5つの葉は環境人間学部の5つの専門分野をシンボライズするとともに「環境」を表現。これらを円形に配置することで地域の輪や学問の広がりを象徴し、シンプルで親しみやすい形に。(デザイン:環境人間学部3年生の氏脇和奏さん)

神戸商科キャンパス 新学部に向けて

2018年10月13日、国際学生寮建設予定地に県関係者、来賓の方々及び工事施工関係者が集まり、国際学生寮等建築工事起工式が行われました。

2019年4月開設の国際商経学部のグローバルビジネスコース向けには日本人学生と外国人留学生がシェアハウス形式で生活する国際学生寮(地上6階建、延床面積約6,500m²)が、社会情報科学部向けには高度なデータ分析スキル習得のための新教育研究棟(地上4階建、延床面積約3,300m²)が新設されます。



「志高遠」の碑を移設

姫路工学キャンパス

2018年11月9日、「志高遠」の碑のA棟正面移設と、碑に込められた先達の思いを記載した由来板設置を記念して、除幕式が実施されました。

「志高遠」の碑は、姫路工業大学がS24年4月に開学し、S26年3月兵庫県立工業専門学校が閉校するのを記念して、兵庫県立工業専門学校の同窓会から贈呈されました。題字は、初代校長 井口直次郎先生、書は山本鷺山先生のことです。御影石による碑は、当初、伊伝居校舎の玄関前東寄りに設置され、歴史の流れを静かに見上げていたそうです。

1970年、大学の書写全面移転に伴い、伊伝居から書写の大学サークル会館前に移設されました。

そして2018年11月9日、A棟正面(現在の場所)に移設されました。



《五国豊穣》～県立大学のお宝紹介～



西はりま天文台

日本国内最大にして、公開望遠鏡としては世界最大を誇る口径2mの反射望遠鏡「なゆた」を持つ西はりま天文台は、兵庫県立大学の組織の1つです。

佐用郡佐用町の大撫山山頂に

あり、毎年恒例の「星の都のキャンドルナイト」を開催しています。

天文の専門家の講演会をはじめ、夜間に屋外でロウソクを点灯する「キャンドルタイム」や「大観望会」「天文工作教室」など、多彩なプログラムが行われます。